



ハチクサン[®] ME 2

//// シロアリ防除剤
木部処理剤

防蟻・防腐効果で木部をしっかりガード。

ハチクサンME 2は、イミダクロプリドを主成分とし、防腐成分として新規有効成分ペンフルフェンを採用した木部処理剤です。マイクロエマルジョン製剤技術で臭いが少なく、バイエルの土壌処理剤との併用で住宅をしっかり守ります。

®はバイエルグループの登録商標

ハチクサンシリーズの 木部処理剤



防蟻

+



防腐



ハチクサンMEの後継剤

実績のあるシロアリ予防駆除効果と安定した効果で知られるハチクサンシリーズ。

ハチクサンME 2は、シリーズ内で既に実績のある木部処理剤ハチクサンMEをベースに、防腐成分として新規有効成分ペンフルフェンを採用した木部処理剤です。

ハチクサンME 2の効果

1 防蟻効力試験

- 試験方法：JIS K 1571:2010「木材保存剤-性能基準およびその試験方法」-5.3「防蟻性能」
-5.3.1「室内試験」-5.3.1.2「表面処理用」
- 試験薬剤名：ハチクサンME 2 ■希釈剤名：水(20倍希釈)
- 試験開始：2020年2月14日 ■試験終了：2020年3月6日

試験体	試料処理量 g/m ²	死虫率(%)		質量減少率(%)	
		平均	最小-最大	平均	最小-最大
処理試験体	112	13	8-21	1	1-2
無処理試験体	-	6	3-9	24	20-31

試験の結果、ハチクサンME 2はJIS K 1571:2020「木材保存剤-性能基準及びその試験法」の基準(試験体の質量減少率3%以下)を満たしていた。

2 防腐効力試験

- 試験方法：JIS K 1571:2010「木材保存剤-性能基準およびその試験方法」-5.2「防腐性能」
-5.2.1「室内試験」-5.2.1.2「表面処理用」
- 試験薬剤名：ハチクサンME 2 ■希釈剤名：水(20倍希釈)
- 試験開始：2019年2月28日 ■試験終了：2019年5月23日

試験体	供試菌名	試料処理量 g/m ²	質量減少率(%)	
			平均	標準偏差
処理試験体	オオウズラタケ	108	0	0
	カワラタケ	108	0	0
無処理試験体	オオウズラタケ	-	33	6
	カワラタケ	-	26	9

試験の結果、ハチクサンME 2はJIS K 1571:2020「木材保存剤-性能基準及びその試験法」の基準(試験体の質量減少率3%以下)を満たしていた。

3 野外防蟻試験結果(近畿大学)

- 試験方法：JIS K 1571:2010「木材保存剤-性能基準及びその試験法」-5.3.2野外試験-5.3.2.2 表面処理用
- 試験薬剤名：ハチクサンME 2 ■希釈剤名：水(20倍希釈)
- 試験開始：2018年11月13日 ■試験終了：2020年10月26日

試料処理量 g/m ²	試験体No.	食害度		特記事項*
		1年目	2年目	
113	1	0	0	誘蟻杭の食害大
114	2	0	0	誘蟻杭の食害大
113	3	0	0	誘蟻杭の食害大
115	4	0	0	誘蟻杭の食害大
115	5	0	0	誘蟻杭の食害大
	食害指数	0	0	

*誘蟻杭の食害状況、加害したしろあり種、試験期間中の観察事項およびその他

試験の結果、ハチクサンME 2はJIS K 1571:2020「木材保存剤-性能基準及びその試験法」の基準(食害指数10未満)を満たしていた。

用法・用量

// 用法

本剤をよく振り混ぜてから水で20倍に希釈(水17.1Lに本剤0.9kgを加える)して使用してください。希釈液は使用の都度、十分攪拌し、その日の内に使用してください。なお、本剤は雨が当たる場所には十分配慮し、使用してください。

// 使用量

(公社)日本しろあり対策協会編・防除施工標準仕様書に従い使用してください。

■吹付けまたは塗布処理

新築・既築建築物の予防駆除処理に使用する場合、木材の表面1㎡当り300mLを基準として、吹付け又は、塗布してください。

■浸漬処理

新築および増改築用の木材予防処理に使用する場合、用法・用量にのっとり調製した薬剤に、木材を5分以上完全に浸漬してください。

■穿孔処理

既築建築物の予防駆除に使用する場合、直径6~13mmのドリルで木材の1/2以上の深さまで穿孔し、本剤を穿孔部より溢れ出るまで十分加圧注入した後、あらかじめ薬剤で処理した木栓を埋め込んでください。穿孔の角度は、45度を原則としますが、使用場面に応じて角度を調節してください。ただし、構造部材等を処理する場合には、構造耐力上支障が生じないように行ってください。

// 成分・含量

- イミダクロプリド…2.0%
- ペンフルフェン…2.0%
- 水、界面活性剤等…96.0%

※厚生労働省で気中濃度指針値が定められているVOC13物質を使用しておりません。